

社会生活等状況確認書

(提出用)

平成 年 月 日

千葉県立障害者高等技術専門校長 様

_____さんを_____コースの受講希望者として紹介します。
性別： 男 ・ 女 年齢： _____ 歳

●支援機関から見た就労準備状況●

1. 生活面について

【生活リズムの安定性】

【日常生活の自立性】

【家族の方の就労への意識等】

2. 病気・障害について

【通院状況】

【服薬管理（服薬時、怠薬・拒薬傾向の有無等）】

【病状の安定性】

【悪化時の状況（悪化前のサインと悪化時の症状）】

3. 対人関係について

【コミュニケーションの傾向】

4. 基本的活動状況

【通所施設への通所状況（通所の安定性、遅刻・欠勤の有無等）】

裏面へ続く

【周囲の人との親和性】

【自発的活動】

【支援機関職員との関係性】

5. 仕事に対する意欲・動機

【働く意思・希望】

【職種や給料へのこだわり】

【周囲からの勧めの有無】

6. 支援機関より

【職業訓練への見通し】

【今後の課題】

【その他、留意事項】

<支援機関>機関名：

代表者：

⑩

住所：〒

電話：

担当者：

<受講希望者>氏名：

⑩

社会生活等状況確認書（記入要旨）

平成 年 月 日

千葉県立障害者高等技術専門校長 様

_____ さんを _____ コースの受講希望者として紹介します。
性別： 男 ・ 女 年齢： _____ 歳

●支援機関から見た就労準備状況●

1. 生活面について

【生活リズムの安定性】

* 「睡眠の状況」、「食事の確保について」、また「日中活動における生活リズムの安定性」等について記入してください。

【日常生活の自立性】

* 「身の回りのことが自分でひととおりできるか」、「どのような点で周囲の助けが必要か」、「家族の協力や福祉サービスの利用等をどのような点でされているか」等をポイントに記入してください。

【家族の方の就労への意識等】

* 「家族が本人の意思を尊重して見守っているか」、「家族からの意向の強さ」、「病気や障害についての理解」また「本人の『働きたい』という気持ちに対して、どのように感じているか」等について記入してください。

2. 病気・障害について

【通院状況】

* 「何週間に1回の通院か」、「定期的な通院を忘れることなくできているか」、「通院ができなくなる場合がある場合はその理由」等について記入してください。

【服薬管理（服薬時、怠薬・拒薬傾向の有無等）】

* 「怠薬や拒薬なく安定して服薬管理ができているか」、「怠薬や拒薬がある場合は、常にそのような状況であるか、あるいはある状況においてそうであるか」等について具体的に記入してください。

【病状の安定性】

* 「病気や体調の自己管理の可否」、「日常的な病状の問題について」、「具体的問題（腹痛、頭痛やめまい等）の有無」等をポイントに書いてください。

【悪化時の状況（悪化前のサインと悪化時の症状）】

* 「悪化前にはどのような症状や状態の変化があるか」、「悪化時にはどのような症状があるか」、「その変化においてSOSが出せるか、または周囲が気づくことがあるか」等について具体的に記入してください。

3. 対人関係について

【コミュニケーションの傾向】

* 「挨拶や返事の可否」、「言葉遣いや態度」、「自分の気持ちを伝えられるかどうか」、「相談できる人の有無」等をポイントに記入してください。

4. 基本的活動状況

【通所施設への通所状況（通所の安定性、遅刻・欠勤の有無等）】

* 「活動時間について（週何日、何時から何時までの活動か）」、「遅刻・欠勤なく通所できているか」、「参加中は、プログラムに参加できているか」、「通所は自分でできているか」等をポイントに記入してください。

裏面へ続く

【周囲の人との親和性】

* 「他の通所者との関係性」、「通所メンバーの中での役割」等について記入してください。

【自発的活動】

* 「わからないことがあれば必ず質問をして確認できているか」、「作業終了の報告や次の作業の指示を求めることができているか」、「希望（休暇や休息、作業内容の変更等）を申し出ることができるか」、「指示待ちでなく自ら仕事を探そうとしているか」、等をポイントに記入してください。

【支援機関職員との関係性】

* 「支援機関職員との会話の有無」、「必要な時に必要な相談ができているか」等をポイントに職員との関係性について記入してください。

5. 仕事に対する意欲・動機

【働く意思・希望】

* 「働きたい理由」、「働く意思がどこから来ているか」、「障害の開示・非開示の希望について」、「受験希望コースで修了までの訓練で段階を踏んでいきながら働く準備を進めて行きたいか」等を具体的に記入してください。

【職種や給料へのこだわり】

* 「職種や給料へのこだわりの有無」、「ある場合は具体的にどのような点にあるのか」等を具体的に記入してください。

【周囲からの勧めの有無】

* 「周囲からの本人にとって過度な勧めや期待の有無」等を具体的に記入してください。

6. 支援機関より

【職業訓練への見通し】

* 「職業訓練を修了までの期間、受講するにあたっての見通しについて予測されること」等を記入してください。

【今後の課題】

* 「就職準備に関わる課題だけでなく、生活面全般も含めて」具体的に記入してください。

【その他、留意事項】

* 「受験希望コース受講に関連して」、また「今後の就職を目標として」当校が知っておいたほうがいいこと等を自由に記入してください。

<支援機関>機関名：

代表者： ⑩
住 所：〒
電 話：
担当者：

<受講希望者>氏 名： ⑩

社会生活等状況確認書（記入例）

平成 年 月 日

千葉県立障害者高等技術専門校長 様

_____さんを_____コースの受講希望者として紹介します。
性別： 男 ・ 女 年齢： _____ 歳

●支援機関から見た就労準備状況●

1. 生活面について

【生活リズムの安定性】

<例>半年前までは、生活リズムが安定せず、昼夜逆転で作業所通所も休みがちであったが、ここ半年は安定し、休むことなく通所できている。食事は3食欠かさず食べているようである。

【日常生活の自立性】

<例>入浴や整容はできるが、片付けは苦手。週に1回ヘルパーを利用している。公共交通機関の利用については、以前は不安が強く利用できなかったが最近は積極的に利用している。

【家族の方の就労への意識等】

<例>家族は本人の意思を尊重しつつも働くことに対して不安に感じており、作業所通所を継続して欲しいと思っている。本人の働きたい意思に対しては、強く反対することはない。キーパーソンは母。

2. 病気・障害について

【通院状況】

<例>2週間に1回の通院。服薬忘れにより薬が余っていると、なくなるまで通院しないことがある。

【服薬管理（服薬時、怠薬・拒薬傾向の有無等）】

<例>日頃から、指示通りの服薬をしておらず、薬を自ら選んで服薬している傾向にある。また主治医には、そのことは話していないので、薬の調整がなされていないようである。

【病状の安定性】

<例>病状については服薬や睡眠の大切さを主治医より説明を受けており、その指示に従っており、体調の変化があれば作業所職員や主治医に適宜相談している。頭痛の訴えが多い。

【悪化時の状況（悪化前のサインと悪化時の症状）】

<例>悪化前には、落ち着きがなくなることで周囲が気づくことがあるが、本人は少し寝付きにくくなったと感じる程度。悪化すると不眠や幻聴といった症状で、自宅に引きこもってしまうことがあった。

3. 対人関係について

【コミュニケーションの傾向】

<例>挨拶や返事といった基本的なコミュニケーション技能は備えているが、自ら積極的に話しかけるといったことはしない。話しかければ話してくれるといった感じ。家族にはいろいろと相談できている様子。

4. 基本的活動状況

【通所施設への通所状況（通所の安定性、遅刻・欠勤の有無等）】

<例>週5日、午前10時～午後4時まで通所。（通院日は休み）月に1～回程度の遅刻はあるが、事前に連絡が必ずある。作業に積極的に参加するが、休憩中も作業を休むことなく続ける傾向にある。自転車で毎日通所している。

裏面へ続く

【周囲の人との親和性】

<例>他の利用者に自ら積極的に話しかけることはないが、面倒見が良く、周囲への気配りができている。また、相談相手になることもあるが、それを断れずに疲れてしまうことがよくある。

【自発的活動】

<例>指示があればそれにしたがって行動できるが、わからないことがあっても質問しないことが多い。また疲れても休憩を申し出ることができずに無理をして翌日休むことも時折ある。

【支援機関職員との関係性】

<例>自ら話すことはないが、話しかけるとよく話す。また相談することに対しては、定期的な面談の場においては日常の悩みを話すことや指示を仰ぐこともできる。

5. 仕事に対する意欲・動機

【働く意思・希望】

<例>家族に面倒をかけたくないという思いや自立したいという思いが強いため、以前から働きたいと言っていた。障害はこれまで非開示での苦労があったことから、開示で働きたいと思っている。しかしすぐに就労する自信がないことから時間をかけて訓練していきたいと思っている。

【職種や給料へのこだわり】

<例>過去に事務職の経験があることから事務職希望。正社員や給料へのこだわりは特にないが、パソコンを使った仕事をしたいと思っている。

【周囲からの勧めの有無】

<例>家族、特に父が「働くことが一人前」と言って働くことを強く希望している。しかし母や支援者は本人の希望やペースを大切にして、進んでいったほうがよいと思っている。

6. 支援機関より

【職業訓練への見通し】

<例>6か月の訓練期間で、本人が希望する職種へのこだわりから、柔軟な職種選択が可能な余裕が生まれることがあればと思います。また自信がつけば就労が可能と思う。

【今後の課題】

<例>環境の変化により睡眠のリズムが崩れることがこれまでにあった。また対人緊張が強く、新たな環境になじむことに時間を要することも予測される。

【その他、留意事項】

<例>作業所通所開始から約2年が経過しているが、それまで保健福祉センターのグループワークや社適を利用（施設の清掃）をしていたことがあり、区の相談員とも関係がある。また地域生活支援センターも時々利用しており、そこで色々と生活面の相談にのってもらっているようである。

<支援機関>機関名：

代表者：

㊞

住所：〒

電話：

担当者：

<受講希望者>氏名：

㊞